

調布「憲法ひろば」

WEBサイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第26号

11月19日
2006年

発行: 憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15
あくろす2階 市民活動支援センター内
メールボックス6番
FAX 番号: 042-483-1566 大野気付

E-Mail: chofu9jou@yahoo.co.jp

手づくりで対話を求めた11・16集会



フィナーレで「ねがい」を合唱する出演者たち



集会はすべてオリジナル企画。プロローグは、ある調布市民が廃墟長崎で憲法に出会った感動を綴った手記を劇化し、石川さんと二宮さん(左写真)が熱演。日本国憲法が昔も今も放つ新鮮な輝きが参加者の胸を打ちました。

主催者あいさつをした富永りかさん(右写真)は、有名人を呼ぶ方式でなく、あえて手間ひまのかかる「手づくりによる対話づくりと繋がりづくり」を大事にする方式で集会を準備したこと。その思いを集会タイトルに込めたことを強調。「政府・与党



が衆院本会議で教育基本法改正案を強行採決したのは『対話』の逆を行くもので許せない」と、有志が準備した抗議文に連名する方は申し出て欲しいと訴え、約100人が同意しました。続いてわか嘶家の鈴木家寝坊助さん(上写真)が「社会保障つぶしは九条改憲の条件づくり？」との創作落語で十年來の生活破壊と憲法改悪が一体であることを解明しました。

誕生から二年！二四〇人が集う

第20回 憲法ひろば



若者たちと手を取りあって

サークル「P魂s(ピースウルズ=平和の魂を持つ仲間)」の若者たち(上写真)が、東京大空襲や中国の重慶爆撃の体験者から平和への願いを引き継ぎながら平和のメッセージを広げるために奮闘していると報告すると、年配の参加者が「希望の灯が見えた」とそっと涙をぬぐっていました。

「対論」(右写真)では、改憲派役の富永信哉さん(子どもと教育を考える市民会議)が「北朝鮮が核を持って不安」「何をするか分からぬ金正日に核を使わせぬために日本はアメリカに頼らず最小限度の実力としての核を持つべきだ」と問題提起。護憲派役の丸山重威さん(ジャーナリスト)が「核を持たずアメリカの核の傘に頼る、アメリカに頼らず核を持ち強い日本をつくる、などは世界破滅

調布「憲法ひろば」は十一月十六日夕、市文化会館「くすのきホール」で、誕生二周年の集会を開催。同日、衆院本会議で行われた教育基本法改正案強行採決に抗議すべく急遽国会に駆けつけた人びとも呼応し、集会への参加は二四〇人でした。



への道」「核を持たず『憲法九条がキラリと光る美しい国』をつくることにこそ展望がある」と応えます。フロアから「経済力に絶対的な差があり世界のどこにも味方のない北朝鮮に戦争は不可能、なぜ恐れるのか」と、改憲派を「諷める？」発言もありました。

奇しくも「強行採決国会」に對抗

12月例会のご案内

●12月17日(日)13時半～●
北朝鮮問題と日米安全保障体制(仮題)
発題: 島川雅史さん(立教女学院短期大学)
11・16集会を受けての話し合い

11・16集会の「フロア討論」で語りつくせなかった思いを、ぜひ出し合ひましょう!

会場: 国領駅前「あくろす」3階ホール

●「九条の会」憲法セミナー●

11月25日(土)13時半～
会場: 明治大学アカデミーホール
参加費: 1000円

◎問い合わせ先: 九条の会憲法セミナー係
電話: 03-3221-5075

対論に湧いた怒り?と笑い!

堀尾輝久さん(教育学者)が「教基法は審議不十分というより審議で問題点が明らかなので廃案にせよという批判が必要」と発言。「フロア討論」は「発言すると5000円くれますか?」と文部科学省のヤラセを風刺する発言からはじまって、「テポドン性能」論議や「教基法改正案の強行採決」への怒りとたたかう決意、「P魂sの若者に会えて良かった」との感想など多岐に亘りましたが、チューター役の竹内常一さん(教育学者)が客席を巡りながら絶妙に捌きました。

胸膨らませて3年目へ

「憲法9条を活かし子どもたちに明るく明日を!」…発足集会で掲げた初心を実現するために「もっと対話を!」との思いをともにしあつた集会でした。